

# この場をチャレンジの場にしよう!

～ ビジョンやルールはアップデートできることが大事～



第1回協議会の模様

8月3日に、リコモテラス公益施設 大廊下で「第1回長久手中央2号公園利用促進協議会」が開かれました。

この協議会は、都市公園法に基づき設置されたもので、市長から委嘱された8人の委員がリコモテラスの交流拠点である「長久手中央2号公園」の利用促進やルールづくりなどについて話し合っています。

第1回の協議会では、会長に吉村輝彦さん(日本福祉大学教授)を選んだ後、委員のみなさんで意見交換をしました。

## 【主な意見交換の内容】 公園だけでなくエリアを広げて議論する?との意見も

- ・ 2号公園だけでなく、リコモテラス公益施設や道路も含めて一体的な利活用やマネジメントの有り様について、エリアを広げてどういう風に話し合っていけるのでしょうか?
- ・ 「実証実験」は誰がどう担っていくのか、といったことも考えていく必要があると思います。
- ・ 公園のローカルルールを検討するときに、そのローカルエリアはどこまでなのか?
- ・ ビジョンやルールは、アップデートしていけることが大事ですね。
- ・ 今まで、2号公園の管理者は市ということでしたが、市民が気軽に使えるようにするにはどうすればいいのでしょうか。それぞれ勝手にではなく一体となって使えるようになるといいですね。
- ・ この協議会の位置付けはどのようでしょうか?  
協議の場として機能するのか、実際に事業を実施していくことになるのでしょうか。
- ・ この公園は「都市公園」ですので、市の条例で基本的なルールや管理者は決まっています。  
その上で、ローカルルールを決めるのは一見矛盾しているようですが、その常識を打ち破って、この協議会の場でどこまで議論できるのか期待しています。
- ・ イオンモール長久手は、物を売る商業団体ではありますが、この公園で物を売ってもらおうというだけのイメージは持っていません。例えば、ここでテントを張ってアウトドアの体験をしてもらうというイベントのイメージも持っています。
- ・ 観光交流協会は、この公園でのイベントの受付窓口となるようにと考えてきました。  
どこまで調整ができるかわかりませんが、再スタートの企画を考えています。

## まずは、公開レクチャーで勉強から・・・

長久手中央2号公園利用促進協議会の設立を記念して、協議会に先立ち、「公開レクチャー」を開催しました。

始めに、2号公園再整備工事の設計者の(株)総合設計研究所の石井ちはるさんからリモートでグレードアップ設計の内容の説明がありました。

吉村輝彦さんと名畑恵さん(錦二丁目エリアマネジメント(株)代表取締役)のおふたりの対談では、公共空間としての公園の新しい使い方の事例やまちづくりの楽しみ方などについてお話をいただきました。



まずは、小さく動いてみる、そして、何かが起こる。それを楽しむ、そんなプロセスが楽しく思える。そんな進め方もいいのではないのでしょうか。(吉村)

## <お知らせ>

今年度、2号公園をグレードアップする再整備工事を行います。

- 石階段部分の屋根掛け ……ながくてだんだん
- ウッドデッキやテーブルの設置 ……つながるテラス
- 駅前広場からのアクセス階段 ……リコモすてっぴ

再整備工事は、本年9月から来年3月までの予定で、工事期間中は公園をフェンスで囲います。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



<問合せ先> 長久手市役所くらし文化部たつせがある課

電話 63-1111 内線 302,303 担当: 名久井、春原

長久手中央2号公園に関して、詳しいことは長久手市のWebサイトをご覧ください。